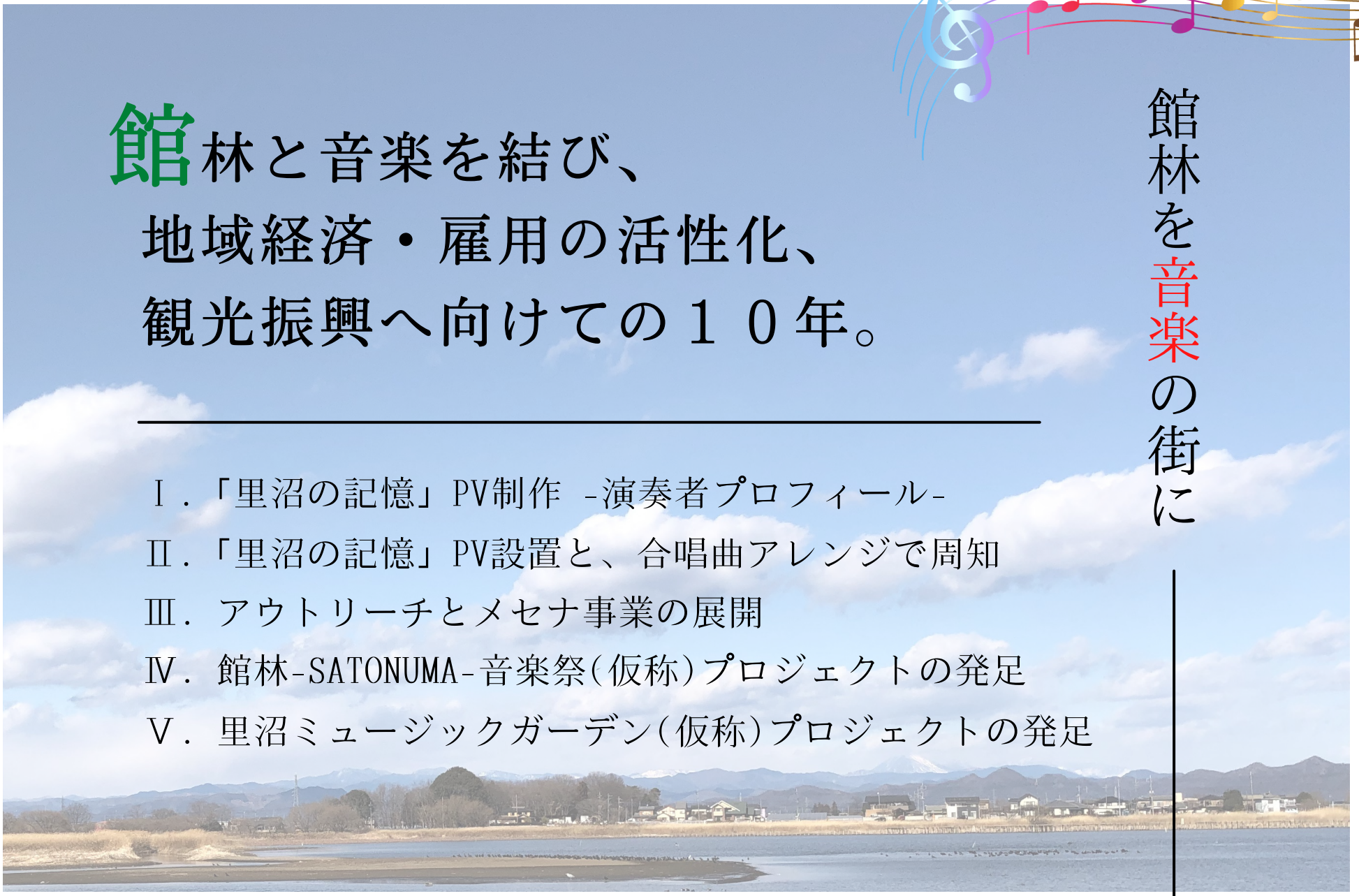


館林を音楽の街に

館林と音楽を結び、地域経済・雇用の活性化、観光振興へ向けての１０年。

Ⅰ．「里沼の記憶」PV制作 -演奏者プロフィール-

Ⅱ．「里沼の記憶」PV設置と、合唱曲アレンジで周知

Ⅲ．アウトリーチとメセナ事業の展開

Ⅳ．館林-SATONUMA-音楽祭(仮称)プロジェクトの発足

Ⅴ．里沼ミュージックガーデン(仮称)プロジェクトの発足

Stage Ⅰ.「里沼の記憶」PV制作

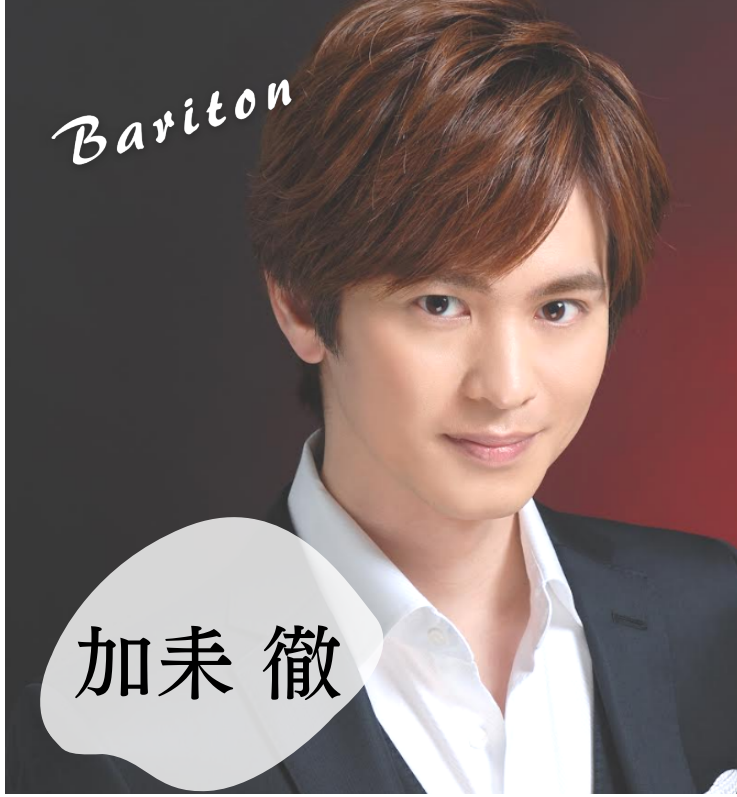
ハイクオリティPV

プロモーションビデオの制作

2022年11月下旬

一流の演奏家による歌曲「里沼の記憶」の
演奏収録と、里沼の景観を撮影。

(バリトン:加耒徹　ピアノ:佐藤圭奈、各氏を予定)





加来（かく） 徹（とおる）

声楽（バリトン）

1984年福岡県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業時に同声会賞受賞。同大学院音楽研究科修士課程独唱科を首席で修了。修了時に大学院アカンサス賞受賞、武藤舞奨学金を受ける。第55期二期会オペラ研修所マスタークラスを総代で修了。最優秀賞および川崎静子賞受賞。第15回NEUE STIMMEN 2013“新しい声”国際コンクール、日本人男声として初のセミファイナル進出。第20回友愛ドイツリートコンクール第2位。日本歌曲賞、日本Ｒシュトラウス協会賞受賞。2014年シャネル・ピグマリオン・デイズアーティスト。バッハ・コレギウム・ジャパン声楽メンバーとして海外ツアー、録音にも参加する他、『マタイ受難曲』『メサイア』などの公演でソリストとしても出演している。近年はオペラでの活躍もめざましく、日生劇場オペラ公演『ドン・ジョヴァンニ』にタイトルロールのドン・ジョヴァンニ役で出演し聴衆を魅了した他、同じく日生オペラ『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ役、サントリー主催オペラ公演『愛の妙薬』ベルコーレ役、二期会オペラ公演『ナクソス島のアリアドネ』ハルレキン役、二期会ニューウェーブオペラ公演『ジューリオ・チェーザレ』アキッラ役などで出演し、正統派からコミカルな役まで好評を博している。東京と福岡では毎年リサイタルを開催。歌曲の演奏には定評があり、世界各国の歌曲に幅広くレパートリーを持つ。『冬の旅』『詩人の恋』をはじめ、イギリス歌曲のコンサート企画なども積極的に行っている。

これまでにCD【KAKU TORU DÉBUT】【加来徹×ドイツ歌曲】をリリース。NHK-FM『リサイタル・ノヴァ』出演。Jリーグチーム「アビスパ福岡」の熱狂的サポーターとして知られ、スタジアムイベントにも出演している。桐朋学園大学嘱託演奏員。二期会会員。

佐藤（さとう） 圭奈（けいな）

ピアノ

特待奨学生として、東京音楽大学付属高校を経て、同大学ピアノ演奏家コース卒業。ドイツ・ハノーファー音楽演劇メディア大学ソリスト課程卒業。ドイツ国家演奏家資格取得。2009年度野村国際文化財団奨学生。
2010年度文化庁新進芸術家海外留学研修員。これまでに、加藤一郎、加藤恭子、播本枝未子、倉沢仁子、M.ラエカリオ、M.グローの各氏に師事。

日本音楽コンクール入選。アマデオ賞国際ピアノコンクール（ドイツ）第3位及びモーツァルト特別賞。ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ。ルチアーノ・ガンテ国際ピアノコンクール(イタリア)ショパン賞、他特別賞。香港国際ピアノコンクール(香港)第2位。他国内外のコンクールにて多数入選、入賞を果たす。

これまでに、飯森範親、高関健、飯守泰次郎、V.アシュケナージ、M.ミュラーの各氏、東京フィル、香港フィル、ゲッティンゲンフィル等の国内外のオーケストラと共演。国内はもとより、ヨーロッパ各地にて演奏会に多数出演し好評を得る。2016年には初のソロCD「Träumerei」をリリース。
現在、東京音楽大学非常勤講師、昭和音楽大学非常勤講師。

Stage Ⅱ.「里沼の記憶」PV設置と、合唱曲アレンジで周知



2023年1月～

完成したPVを館林市内の様々な人の集まる場所に設置、放送していただく様に働きかける。(例)市役所、銀行、病院、高齢者施設、うどん屋などの飲食店、ショッピングモールなど。モニターの設置を要するため、公費のサポートをご検討いただく。また、「里沼の記憶」の合唱曲へのアレンジを行い、学校や合唱団体を通じて広く周知し、郷土愛を共有し、市民と音楽を結び付けていく。

Stage Ⅲ. アウトリーチとメセナ事業の展開



2023年4月～

プロの演奏家による生演奏で、歌曲「里沼の記憶」をはじめ、クラシック音楽のコンサートを、教育・福祉・医療機関などで実施していく。特に小・中・高校での芸術鑑賞会や体験型ワークショップなどを通じて、若い世代へ働きかけていきたい。まずは個人としての営業が主体となるが、いずれの段階で、一部分でも良いので、自治体のアウトリーチ公演事業として取扱っていただくことで、より上質な内容と頻度、そして周知するスピードが増す。企業や財団に向けても、メセナへの協力を求め、バックアップしていただく骨組みを将来にわたって構築していきたい。

Stage Ⅳ. 館林-SATONUMA-音楽祭(仮称)プロジェクトの発足





2024年4月～

秋の夕焼けイベント、音楽野外フェスを恒例行事にするためのプロジェクトを発足。例えば「館林-SATONUMA-音楽祭」或いは「里沼クラシックフェスタ」などと名付け、茂林寺沼は室内楽、城沼ではオペラハイライトなど、ベルリンフィルのヴァルトビューネの様に、館林特有の里沼と、森と風と夕焼け、月夜を堪能できる野外特設劇場での演奏会を企画する。多々良沼ではジャズフェス、近藤沼ではサーカスやパントマイムなどの構想もあるとなお盛り上がる。概ね4年の準備期間を経て、2028年頃に実現したい。

Stage Ⅴ. 里沼ミュージックガーデン(仮称)プロジェクトの発足



2026年4月～

野外フェス計画と並行して、美しい公園の中に、音楽専用の劇場を建設するプロジェクトを発足。イメージはデンマークのチボリ公園の様に、花と緑と音楽に包まれる。経営の難しいテーマパークではなく、自然の美しさによる憩いと、音楽の楽しさから得る刺激を表現した、館林次世代のシンボルとなり、フラッグシップとなる。その一角には劇場があり、質の高い演奏会やセミナー、合宿なども行われ、市民の誇りとなるだけでなく、多くの来場者、観光客が訪れる。企業やホテル事業などの誘致も行われ、雇用を生み出し、観光振興及び地域経済の活性化を図る。概ね6年の準備期間を経て、2032年頃に実現したい。